

19. 岡山県におけるてんかん地域診療連携体制整備事業（2020年度）

岡山大学病院てんかんセンター 秋山倫之

まとめ

岡山県内での診療連携のみならず、若手医師の教育にも役立てるため、岡山県てんかん診療ネットワーク（Okayama Prefectural Epilepsy Network, OPEN）のメーリングリストをてんかんに関する話題提供や症例相談などにも活用するようにした。OPEN 参加者専用サイトを立ち上げ、てんかんに関する資料などを閲覧可能にした。県内の医療機関を結んだ症例 web カンファレンスは月 1 回ペースで継続している。今年度は新型コロナウイルス感染症のため研修会がなかなか開催できない状況であったが、社会福祉士を対象とした研修会を 3 月に開催予定である。また、てんかん患者が他院を緊急受診した場合等に必要最小限の情報提供を速やかに行えるよう連絡カードを作成した。ミダゾラム口腔用液が発売され、今後救急での使用増加が見込まれることから、岡山県を通じて救急隊への周知を行った。

1. 概要

今年度は、以下の事業を行った。

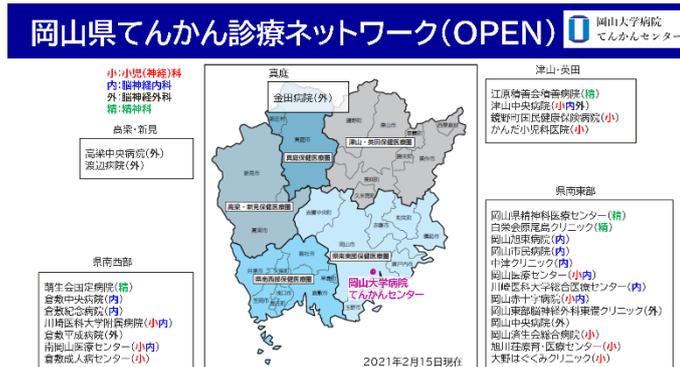
- 岡山県てんかん診療ネットワーク（OPEN）メーリングリストの活用法の見直し
- OPEN 参加者専用サイトの開設
- てんかん症例 web カンファレンス
- てんかんコーディネーターによる相談・診療連携業務
- 患者連絡カードの作成
- ミダゾラム口腔用液に関する救急隊への周知

2. 活動状況

1) 岡山県てんかん診療ネットワーク（OPEN）の運営

岡山県には 5 つの二次医療圏があり、各医療圏に地域医療連携施設は存在するものの、県の北部は連携施設がまだまだ少ない状況が続いている。

今年度からは、OPEN 参加施設の担当医師のみが参加していたメーリングリスト（OPEN-ML）を、岡



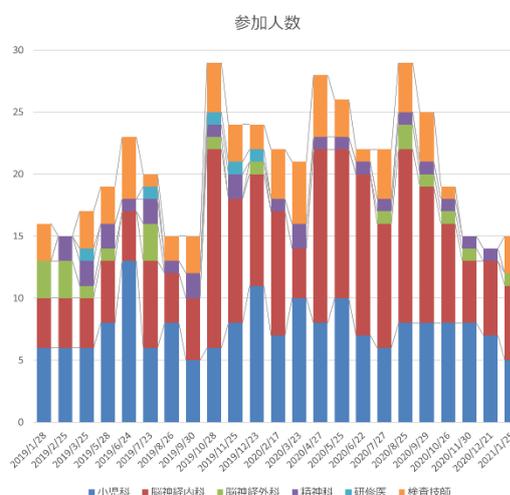
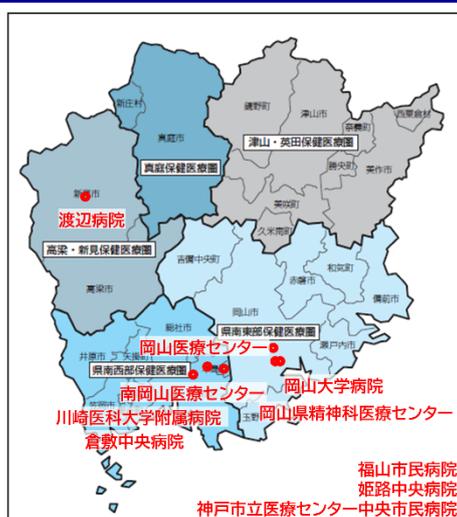
山県内のてんかん診療に関わる医療従事者（非医師も含む）も参加可能にし、てんかん診療に関する情報提供や症例相談などを行えるようにした。これにより診療科や職種の壁を越えた幅広い議論を今後進めていけるものと期待している。また、てんかんに関する資料（講演資料など）を OPEN 参加者が閲覧可能な専用サイトを開設した。

2) てんかんに関する研修

- 医師を対象とした web セミナー（2020 年 3 月 30 日、11 月 10 日）
- 院内総合患者支援センター研修会（2020 年 5 月 15 日）
- てんかん外科カンファレンス：月に 2 回開催、多職種による症例検討
- てんかん症例 web カンファレンス：月に 1 回開催
- てんかんセンター講習会（2021 年 3 月 12 日予定）

てんかん症例webカンファレンス

岡山大学病院
てんかんセンター



3) 疾患啓発活動

- てんかん月間（2020 年 10 月）
啓発ポスターや資料展示・配布
- パープルデー（2021 年 3 月下旬の予定）
啓発ポスターや資料展示・配布

4) 相談業務

てんかんコーディネーターは、社会福祉士が 1 名（常勤、併任）である。社会福祉士は総合患者支援センター（てんかんセンター相談窓口を設置）に所属しており、同センターの他の職員もコーディネーター業務の補助を適宜行っている。

5) 患者連絡カード

てんかん患者が、てんかん重積状態や他の疾患などで他の医療機関を緊急受診される事例がある。そのようなリスクが高い患者に携帯していただくため、お薬手帳サイズの患者連絡カードを作成した。

6) ミダゾラム口腔用液に関する救急隊への周知

2020年12月にミダゾラム口腔用液が新規発売され、小児のてんかん重積状態に対して保護者または医療従事者が使用可能になった。本剤を使用後の救急搬送要請の増加が今後見込まれることから、岡山県を通じて本剤に関する情報提供を救急隊へ行った。また、来年度に救急隊員を対象とし、てんかん一般と本剤に関する講演を行う予定である。

